

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	ワークショップハーモニー
住所	東京都三鷹市大沢1-1-43
電話番号	0422-26-8620

事業所番号	1312700378
管理者名	清水宏一郎
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動	選択年度	① 令和5年度、令和4年度及び令和3年度	40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上			
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上			
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満			
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満			
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点			

(III) 多様な働き方(※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○	
就業規則等で定めている		
小計(注1)		5

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上(※)		5 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計(注2)		4

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計

# 160

点 / 200点

注1 「生産活動収支の状況」の前年度、前々年度及び前々々年度の実績は、以下のいずれかの期間の実績を算出すること。  
 ① 令和5年度、令和4年度及び令和3年度  
 ② 令和元年度、平成30年度及び平成29年度

注2 それ以外の項目は、令和5年度実績で評価すること。

注3 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた間の実績を用いない就労系障害福祉サービス事業所については、報酬算定に当たって、新型コロナウイルス感染症の影響の有無を受けた理由などを記載する届出書を作成の上提出すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ワークショップハーモニー
住所	東京都三鷹市大沢1-1-43
電話番号	0422-26-8620

事業所番号	1312700378
管理者名	清水宏一郎
対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

- (1) 法人が取り組んできた地域公益活動の買い物支援事業「買い物ツアーかわせみ」の登録者の方々への店舗の提供と接客サービス
- ①活動場所：A型店舗の大沢ハーモニー及びハーモニーガーデン  
②実施日程：毎週火・木・金曜日の店内喫茶利用及び販売、金曜日の買物代行。コロナ感染症状況及び参加者の歩行状況による安全確保の為、1回の参加人数を2~3名で実施。  
③実施した生産活動：かわせみ様店舗利用時のランチ提供、パン、豆腐、スモーク品、惣菜等の商品製造・販売、金曜日の買物代行時の予約注文配達
- (2) 地域公益活動での3ヶ所の子ども食堂へのパンや惣菜類の無償提供・配達  
①活動場所：地域集会所、地域コミュニティセンターなど  
②実施日程：1ヶ所は毎月第2, 4水曜日夕方、2ヶ所は毎月末ころの夕方  
③実施した生産活動：菓子パン、コッパサンド、バターロール各種、クロック、サラダ等の惣菜
- (3) 三鷹商工会主催の三鷹まちゼミへ参加、手作りパン教室の実施  
①活動場所：ワークショップハーモニー事業所内店舗の大沢ハーモニー  
②実施日程：11月11日(土)10:30~12:00、11月23日(祝・木)13:30~15:00の2回  
③実施した生産活動：菓子パン(参加費無料で、手作りパン教室にかかった材料費のみ)、1開催6名前後の参加者

## &lt;活動の様子&gt;

## (1) 買い物支援事業 買い物ツアーかわせみ



買物後、A型店舗で喫茶タイム

店舗利用後、法人の送迎車で自宅へ送迎

## &lt;目的&gt;

- 地域連携活動のねらい：(1) 買い物支援事業は、同地区の自力での買い物が困難な高齢者の方々に対象に、法人送迎車で自宅へお店まで無償で送迎し、添乗サポーターにより安心して自分で買い物をでき、買物後に法人運営の店舗を利用することで参加者同士の交流の機会と店舗の売上にもつながり相乗効果が生まれている。
- (2) 様々な事情を抱えている子どもたちが通う地域3か所の子ども食堂へ、事業所で製造しているパンや惣菜等を無償での食事提供により、子供たちにとっての居場所作り支援への協力。
- (3) 三鷹まちゼミでの店舗認知の拡大と地域活性化、店舗のリピーター・売上増、まちゼミ参加80店舗・企業との交流
- 地域にとってのメリット：ケアネット大沢、地域包括支援センターとも連携し、高齢者から子どもたちまで、住み慣れた地域で安心・安全な生活の確保、SDGsにおける高齢・子ども・障害の理解促進、またいづれも地域の活性化につながっている。
- 対象者にとってのメリット：(1) 買い物支援事業は自分で選びながら買物でき、参加した地域の方々との交流の機会、一人暮らしの方のみこもりやA/D/L低下の防止。  
(2) 子ども食堂については、子供の食育や福祉事業の認知。  
(3) 三鷹まちゼミについては、手作り体験の機会、店舗や参加者間、親子との交流、余暇の充実、パンの知識獲得。

## (2) 子ども食堂へのパン惣菜類の無償提供・協力



フェイスブックに掲載された、子ども食堂へ提供したクロックとパン各70食分

子ども食堂からの注文書と子どもたちの反応の記載

## &lt;成果&gt;

- 実施した結果：(1) 買い物支援事業は、参加者が3名程で添乗サポーターの方合わせ4名前後、毎週火・木・金曜日の3回、お昼の時間帯にA型店舗に来店された。店内ではランチメニューのご注文や商品をお買い上げいただき、毎回40分前後の滞在で参加者同士での会食を楽しみ、1回のご利用で5千円ほど店舗売上にもつながった。
- (2) 3ヶ所の子ども食堂へのパンや惣菜類の提供は、計35回実施。
- (3) 三鷹まちゼミは予約開始後数分でメッチになるほど大盛況であった。参加者は2日間開催して計14名(うち親子4組)で、その日はパン工房を開放して参加した地域の方々は、パン作りが初めての方がほとんどで、パン工房スタッフが講師となり、参加者に数種類のパン作りの工程を体験いただき、皆さんが楽しみながら自分で焼き上がったパンを見て感動されていた。アンケートでも皆さんが満足されていた。
- 得られた成果：(1) 支援事業参加の方が喜んで頂くことで、製造している利用者のモチベーションになり、接客する利用者も良い交流の機会となり、食後に乗車の際はいつも暖かくお送りしている。  
(2) 子ども食堂では多くの子供たちに喜ばれ、次回も楽しみにされている。  
(3) まちゼミをきっかけに新規のお客様にながった。また、対応したスタッフは直接参加者楽しんで喜ばれていたことで、通常とは違った仕事のモチベーションにもなった。
- 課題点：(1) 開始以来継続している無事故運転の継続、年々歩行不安定の方もみられるので買物中の転倒事故等の防止、感染症防止対策、参加前の健康確認、三鷹市広報にも協力いただき募集している添乗サポーターの確保。  
(2) アレルギー対応など支援団体との連携  
(3) 毎年継続して企画したいが、開催時期が繁忙期と重なるため、開催日程の調整と効果的な内容の検討。

## (3) 三鷹商工会主催の三鷹まちゼミでの手作りパン教室



手作りパン教室の様子

日々のパン工房での製造動画の視聴

## 連携先の企業等の意見または評価





- 連携した結果に対する意見または評価：(1) 法人が取り組んできた地域公益活動の買い物支援事業「買い物ツアーかわせみ」は2024年6月で7周年を迎え、実施回数も800回を迎える。これまで携わってきたケアネット大沢の方々も800回記念企画を待ち望んでいる。登録している参加者は毎回楽しみにしているとの声が上がっている。ケアネット大沢の会長・副会長とにじの会理事長をはじめとした担当スタッフで毎月開催している買い物ツアーかわせみ運営会議では、年月を重ねるにつれ諸々の事情で退会される方がいたり、参加されている方の歩行が不安定傾向であったり、物忘れが見られるなどの安全対策が必要と感じている。また安全に継続していく上で参加者に付き添ってもらえる添乗サポーター不足が現在の課題で、三鷹市広報にも募集案内で協力いただいている。これまでの取り組みでは、ケアネット大沢と地域包括支援センターと連携していることで三鷹市からも高評価を頂き、この取り組みは令和3年東京都地域公益活動推進協議会での実践発表会でも報告させて頂いている。参加者に喜んで頂いていることを実感でき、運営する法人スタッフ、利用者一同やりがいをもって取り組んでいる。
- (2) 3ヶ所の子ども食堂合わせて毎月130名で、ご希望の種類でパンや惣菜を無償提供は、いずれの団体の子どもたちにも喜ばれている報告を受けている。特にパンが好きな子供が多く、人気は高い。またアレルギーの確認、卵抜きで調理の提供などの対応も感謝頂いている。パンの無償提供・協力を継続している中で、イベントの際に唐揚げやクッキーなどの別の受注にもつながった。
- (3) 三鷹商工会では毎年の三鷹まちゼミを通じて、店舗の認知・リピーターの拡大、店舗同士の交流・連携、地域の活性化などにつながり、今回も参加者アンケートの集計から課題もあるが手ごたえも感じているとのことであった。特に対面の手作り体験は参加希望者が毎回多く、当事業所へも今後の参加継続の期待も頂いている。
- 今後の連携強化に向けた課題：(1) 買い物支援事業では、連携しているケアネット大沢と登録利用者の生活面や体調面を含めた状況確認、利用者の希望する買い物コースの検討、店舗提供している大沢ハーモニー及びハーモニーガーデンでのメニューやサービスなどのご要望の確認、感染症対策などについて協議してきた。今後も登録者や地域の状況など情報共有しながら、感染症防止や事故防止などの安全を第一に運営を継続すること、また協力して頂ける地域の添乗サポーターについて、三鷹市や地域包括支援センターなどと連携強化しながら地域貢献活動を継続していくことが課題となっている。
- (2) 子ども食堂とは毎月の開催日に合わせた受注の継続しながら、子供たちや支援している大人たちの意見や反応を随時確認しながら、アレルギー対応など安全面にも必要な対応をしてきた。今後も安全にできるだけみなさんご希望に沿って喜んでもらえるよう継続していく。
- (3) 三鷹商工会が主催する企画には積極的に参加し、地域の情報や営業のノウハウなど学ぶ機会もあり、事業運営の効果につながってほしい。

連携先企業名	(1) ケアネット大沢 (2) わくわく子ども食堂、だんだん・ばあ (3) 三鷹商工会	担当者名	(1) 伊藤会長 (2) 鎌田様、加藤様 (3) 小林様
--------	---	------	------------------------------------

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ワークショップハーモニー	事業所番号	1312700378
住 所	東京都三鷹市大沢1-1-43	管理者名	清水宏一郎
電話番号	0422-26-8620	対象年度	令和5年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>「利用者会活動」…利用者役員を中心に、利用者の皆さんが主体的に余暇企画や社会マナーなどの勉強会での意見交換やルールを決めるなど、一部支援スタッフがサポートしながら取り組んでいる活動。</p> <p>①活動場所：ワークショップハーモニー事業所 ②開催日程：毎月1回 第4金曜日 ③参加者：就労 A 型・移行利用者25名前後、支援スタッフ2～5名ほど ④利用者の知識・能力向上に係る実施概要：利用者会役員選挙、勉強会(社会人としての関わり方、セクハラ・パワハラについて、食中毒予防、人権スローガン意見交換、SDGsの「作る責任・使う責任」「食品ロス」について、挨拶練習、自転車安全運転講習会など)</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3月に実施した新年度利用者会役員選挙で、会長、副会長、書記の役員に立候補したへの投票の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>利用者会活動の勉強会・意見交換の様子</p> </div> </div>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>①実施のねらい：リアルタイムで問題・課題となっていることを、ロールプレイやクイズ形式で、また参加型で学ぶことで、社会人として働くための良い環境作りを全員で構築していく。</p> <p>②利用者にとってのメリット：社会生活力・働く力・コミュニケーション能力・就労意欲等の向上、良好な人間関係の構築、自転車安全運転意識。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>利用者会活動の勉強会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自転車安全運転講習会の様子</p> </div> </div>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>①実施した結果・成果：日々忙しい作業の中で、仕事以外の余暇企画や勉強会はリフレッシュにつながり、仕事では見られない顔がある。活動は基本的に選挙で当選した役員が進行・意見を抽出し、一部支援スタッフがサポートするが、常に積極的な意見が出て参加利用者は主体的な場面が増えてきている。食中毒予防や食品ロスの勉強会で得たことが仕事に実践されるなど、意識向上につながった。</p> <p>②課題点：社会マナーや対人関係については繰り返しの取り組みが必要。</p>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

就労 A 型事業と就労移行事業との多機能型の事業所として、利用者会活動には合同で取り組んでいる。事業の性格は違うが、同じ就労事業としての共通の課題や社会性などの部分で一緒に学ぶことも多く、共感できている。利用者会活動を通じて、お互いの事業に所属している利用者の特性や考えを知ることができ、日頃の接し方や声掛けなどについて配慮することができるなどの意見が出ている。社会生活力に課題を持っている利用者の方も少なくなく、利用者の方々がより主体的な行動につながるよう、継続的に連携しながら取り組んでいく必要性を感じている。その他新入利用者への基本的なビジネスマナー研修を就労移行のプログラムを活用して実施し定着に繋げるなど事業間の支援の連携を深めている。

連携先企業（担当者） ワークショップハーモニー（移行事業所）

## 利用者からの意見・評価

- ・セクシャルハラスメントについて（べたべたしない、もしされたら、やめて下さいと伝える、男性が女性にしても女性が男性にしていけないなど）
- ・パワハラについて（暴力、暴言、無視をする、怖い顔をする。見かけたらスタッフに伝える、話しやすいスタッフに相談する）
- ・人権スローガン「仲間と気持ちよく仕事をするために」（報連相をする、挨拶をしても返事をしないのは嫌な気持ちになる、人の話を聞く、困っている人がいたら助ける、落とし物を見つけたらスタッフに伝えるなど）
- ・SDGsの「作る責任・使う責任」「食品ロス」（必要以上に買い物をしていない、考えてから買う、古いものから先に使う、一日でも早く使い切るなど）

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

## (Ⅰ) 労働時間

前年度（令和5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間

7,368

時間

雇用契約を締結していた延べ利用者数

1,205

人

利用者の1日の平均労働時間数

6

時間

## (Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額

17,363,322

円

利用者に支払った賃金総額

25,746,842

円

収支

▲ 8,383,520

円

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額

18,793,802

円

利用者に支払った賃金総額

21,413,780

円

収支

▲ 2,619,978

円

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額

24,200,861

円

利用者に支払った賃金総額

20,240,066

円

収支

3,960,795

円

## (Ⅲ) 多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

## ①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を定めている 

## ②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている 

## ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている 

## ④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている 

## ⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている 

## ⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている 

## ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている 

## ⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている 

## (Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

## ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している   
②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ※研修名 人権擁護意識の向上  
研修講師 諏訪拓統主任  
実施日・受講者数 8月 11日 15人

## ②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ※研修、学会等名  
実施日 月 日  
※学会誌等名  
掲載日 月 日  
発表テーマ

## ③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している  
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名  
実施日/参加者数 月 日 人  
※他の事業所名  
実施日/参加者数 月 日 人

## ④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名 三鷹まちゼミ講習会  
主催者名 三鷹商工会  
日時 9月 4日  
内容 第7回三鷹まちゼミ開催へ向けた講習会・意見交換会

## ⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している   
⑥当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 21年 10月 1日  
人事評価制度の対象職員数 11名  
うち昇給・昇格を行った者 1名  
当該人事評価制度の周知方法  
書面及び研修、面談

## ⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している   
⑦当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ※配置期間 月 日～ 月 日  
就業時間  
職務内容

## ⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 12月 6日  
第三者評価機関 特定非営利活動法人  
NPOサービス評価機構

## ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 月 日  
規格等の内容

## (Ⅵ) 経営改善計画

⑨指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 

※受理日 令和5年 9月 27日